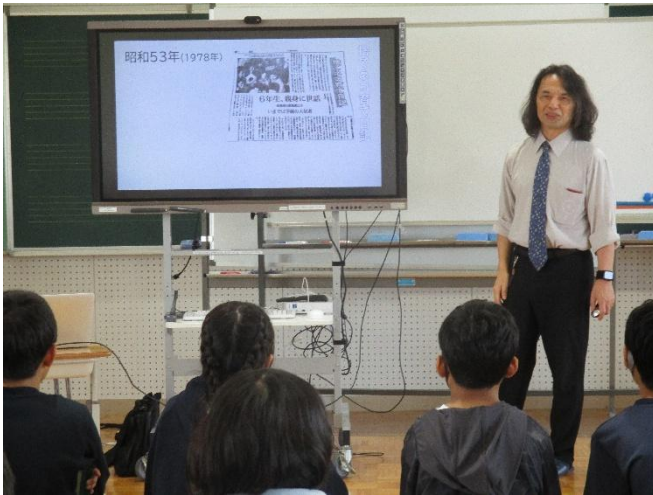


6年生が職業講話を聞きました



10月15日(水)に、6年生が獣医師の今尾さんから保健所で勤務する獣医師の仕事についての講話を聞きました。

保健所の獣医の仕事は主に、①動物を保護する、②動物の飼育に関する相談を受ける、③正しい動物の飼い方を教えることです。

具体的には、迷子になったりけがをしたりした犬や猫を保護し、飼い主に戻すために、健康状態を観察します。また、犬や猫

が飼えなくなった人から理由を聞き、やむを得ない場合は引き取り、次の飼い主に渡します。しかし、飼い主や動物の状態によっては引き渡せない場合があり、そのような時は殺処分となり、それも獣医師の仕事です。また、「犬が吠えて困っている」などの相談を受けて、相談した人に正しい飼い方を教えています。

「犬や猫は人間に比べたら命はとても短い。だから飼うのなら一生懸命世話をしてほしい。」という言葉が印象的でした。

今尾さんは小学校6年生の時に、学級全員で捨てられた子猫の世話をした経験から、獣医師になるという夢をもったそうです。今、経験することが将来の夢につながることを今尾さんのお話から学ぶことができました。